

2020 年度入学試験問題

T 日程・英語外部試験利用入試 1 限

科 目	ページ
数 学 ①	2～13
数 学 ②	14～39
地 理	40～51
国 語	79～54

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 志望学部・学科によって選択する科目・試験時間が決まっているので注意すること。

志望学部(学科)	受験科目	試験時間
下記以外の学部(学科)	数学①または国語	60 分
文学部(日本文)	国 語	90 分
文学部(地理)	地 理	60 分
情報科学部(コンピュータ科・デジタルメディア)	数学②	90 分
デザイン工学部 (建築・都市環境デザイン工・システムデザイン)		
理工学部 (機械工〔機械工学専修〕・電気電子工・応用情報工・ 経営システム工・創生科)		
生命科学部 (生命機能・環境応用化・応用植物科)		

4. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
5. 数学②・国語については、志望学部・学科によって解答する問題番号が決まっている。問題に指示されている通りに解答すること。指定されていない問題を解答した場合、採点の対象としないので注意すること。
6. 数学①②については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
7. マークシート解答方法については、問題冊子を裏返して裏表紙の注意事項を読みなさい。ただし、問題冊子を開かないこと。
8. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(文学部地理学科 地理)

文学部地理学科を志望する受験生のみ選択できる。

〔I〕 世界の水環境に関する以下の問いに答えよ。解答は解答欄に記せ。

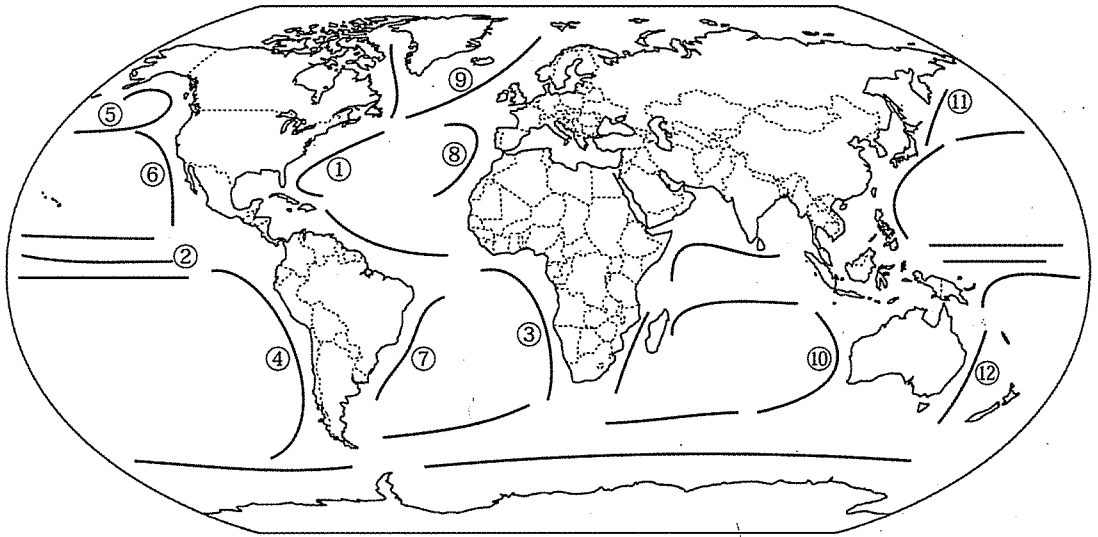


図1

資料：帝国書院『標準高等地図』2019年発行より作成

問1 図1中の海洋に描かれた実線は世界の主な海流の分布を示している。流れの方向はあえて示していない。このうち①～④に該当する海流名を解答欄に記せ。

問2 図1中に示された三大洋を流れる主な海流は、北半球と南半球でそれぞれある方向に回転するように流れている。北半球と南半球での主な海流の回転方向、およびその方向に流れる理由を解答欄の範囲内で説明せよ。

問3 図1中の⑤～⑫の海流のうち寒流にあたるものを4つ選び、解答欄にその番号を記せ。

問4 世界の大洋を流れる海流には、図1のような海洋表層を流れる海流とは別に、1000年以上の長い周期で地球の深海底をめぐり、長期的な気候変動に影響をおよぼすと考えられている大きな海水の流れがある。この海水の流れの名称、発生要因や流れ方などについて解答欄の範囲内で説明せよ。

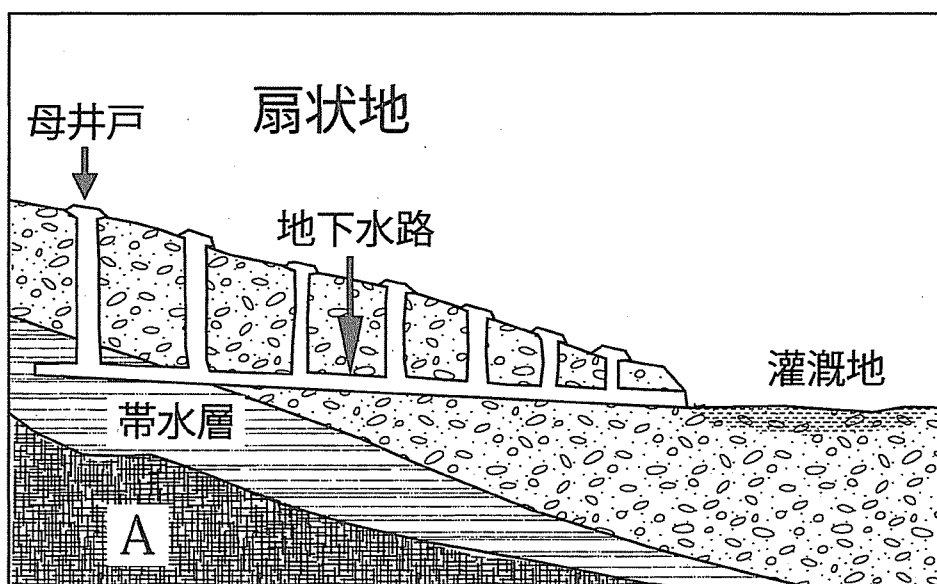


図2

資料：Samuel Bailey (2009) (<https://creativecommons.org/licenses/by/3.0/deed.en>)により作成

問5 図2は乾燥地域において、扇状地中に存在する地下水を利用した灌漑水路の模式図である。この灌漑水路の名称を解答欄に記せ。

問6 図2中の地層Aは、この灌漑水路が機能するために重要な性質をもった地層である。この性質を示す言葉を含む地層の一般名称を解答欄に記せ。

地理

問7 図2のような乾燥地域では、農業を営むためには地下水による灌漑が欠かせないが、地下水による過度な灌漑は、土壤に悪影響を与えるある現象の要因になることがある。この現象の名称を記した上で、その発生メカニズムについて該当する解答欄の範囲内で説明せよ。

問8 地球表層に存在する水の約97%は海水であり、残りの3%が陸上に陸水として存在している。陸水のうち約7割が保存されている場所はどこか。次の(ア)~(エ)の中から最も適当なものを選び解答欄にその記号を記せ。

(ア) 河川 (イ) 湖沼 (ウ) 土壤 (エ) 氷河

〔Ⅱ〕 国境を越える人口移動についてのつぎの文章を読んで、以下の問いに答えよ。

解答は解答欄に記せ。

国境を越える人口移動の歴史は古い。17世紀初めの から清教徒が大西洋を渡り、アメリカ東海岸に新天地を求めたのはよく知られている。このように、初期には宗教的・政治的自由を求める自発的な移動が多かったが、しだいに経済的事由による人口移動も増えてゆく。その中には、いわゆる大航海時代から始まったと言われる 貿易もあり、アフリカからヨーロッパや南北アメリカへと強制的に移動させられた人々は延べ1000万人を超えると推定されているが、こうした 制度は19世紀半ばまでには各国で廃止された。

19世紀末、 は植民地フィジーの プランテーション開発のために、同じく植民地だった から500名余の 人を労働者として移住させ、その多くがフィジーに住みついた。第二次世界大戦後、経済成長に伴う労働者不足を補うため、ドイツやフランスは外国からの出稼ぎ労働者を多く受け入れたが、それらの多くも定住し、ホスト社会に深刻な問題をもたらすことになった。

一方、第二次世界大戦後の政治情勢の変化は新たな国際的人口移動を生じさせた。その始まりはシオニズム運動による新国家の建設(1948年)であり、数多くの人々が国境を越えて集結したが、同時に新たな難民を生み出すことにもなった。⁽³⁾ また 半島では、植民地宗主国フランスからの独立戦争や後年のベトナム戦争が、多くの難民を発生させた。こうした背景から1948年の「世界人権宣言」がもたらされ、1951年には「難民(の地位に関する)条約」が締結された。この条約では、「人種、宗教、国籍、政治的意見やまたは特定の社会集団に属するなどの理由で、自国にいと迫害を受けるおそれがあるために他国に逃れた人々」という難民の定義がなされたが、今日では難民は、政治的な迫害のほか、武力紛争や人権侵害などから逃れるために国境を越えて他国に庇護を求めた人々を指すようになっている。また紛争などによって住み慣れた地を追われたものの、国内にとどまっているか、あるいは国境を越えずに避難生活を送っている「国内避難民」も近年増加している。

地理

とはいえ数の上で圧倒的に多いのは、高賃金やよりよい暮らしを求めて労働者として国境を越える人々である。経済のグローバル化が進展し、国家間の経済的格差が深まると、低所得国から高所得国へ、労働者余剰国から労働者不足国へと人口が流出する。ILO(国際労働機関)の発表によると、2018年末時点の国際労働力移動者は世界全体で1億6,400万人にのぼるといふ。日本でもバブル景気の時期に労働力不足が深刻になり、外国人の 就労者の増加が問題化した。そのため1990年に入管法が改正され、それまで基本的に入国を認めていなかった非熟練労働者についても日系3世までの就労が可能になり、 諸国出身の労働者が増えた。しかし2008年のリーマン・ショックによる不況で解雇され、帰国した者も多かった。また同時期に外国人研修生(技能実習生)として来日する者も増えたが、その後も日本の労働者不足はいつそう深刻化し、2019年4月からは外国人労働者の受け入れをさらに拡大する入管法の再改正が施行された。そうした労働者とその家族らをどうやって日本社会に受け入れるか、課題は山積している。

現代世界で見られる国境を越えた人口移動は、 や商用、留学などの一時的移動を除けば、政治的とか経済的とかいう単一の事由によるというよりも、ホスト側にもゲスト側にも存在するさまざまな要因が複合的に絡みあうものとなっている。⁽⁴⁾

問1 文章中の空欄 ～ に当てはまる最も適当な語句を答えよ。なお と は国名(通称でよい)である。また同じ記号には同じ語句が入る、

問2 下線部(1)について、この時期に当時の西ドイツに流入した労働者たちの最も多かった国の名称を答えよ。国名は通称でよい。

問3 下線部(2)について、下の表は近年のフランスへの外国人流入人口の推移を示したものである。表中の(ア)の国名を答えよ。国名は通称でよい。

表 フランスへの外国人流入人口の推移 単位：人

国名	1990年	2010年	2015年
(ア)	13,800	21,400	22,400
モロッコ	18,000	20,100	18,400
イタリア	—	—	13,200
スペイン	—	—	12,400
ポルトガル	—	—	11,600
合計(その他も含む)	102,400	221,800	252,600

資料：『データブック・オブ・ザ・ワールド 2019年版』より作成

問4 下線部(3)について、①シオニズム運動による新国家の建設とはどのようなことか。また②その結果が現在でも続いているどのような紛争をもたらしたか。それぞれ具体的に説明せよ。解答欄の枠内であれば字数は問わない。

問5 下線部(4)について、近年「環境難民」という言葉が聞かれるようになったが、これはどのような人々のことを指すのか、答えよ。解答欄の枠内であれば字数は問わない。

地理

〔Ⅲ〕 つぎの文章①～⑥は日本の河川について説明している。それらの文章を読み、以下の問いに答えよ。解答は解答欄に記せ。

- ① 瀬の本高原を源とする。高峻な山岳地帯を流れ、くじゅう連山から流れ下る玖珠川を合わせて山間盆地を流下し、多くの支川を合わせて平野部に至る。同平野を貫流した後、派川の早津江川に分派して (a) 海に注ぐ。
- ② (b) 山系を源とする。層雲峡に代表される渓谷を流下して上川盆地に至り、旭川市で支川を合わせ、神居古潭の狭窄部を下って平野部に入る。同平野部で支川を集め、札幌市で豊平川を合わせ、日本海に注ぐ。
- ③ 西吾妻山を源とする。いくつもの溪流を合わせながら米沢市の中心を北に流下する。その後、荒砥狭窄部や大淀狭窄部などの狭窄部を抜けて平野部に至り、酒田市で日本海に注ぐ。
- ④ (c) 湖を源とする。支川を集めながら木曾山脈と赤石山脈に挟まれた伊那谷を南流し、狭窄部と氾濫原を交互に経て流れる。その後、山間部を流下し、平野部を経て遠州灘に注ぐ。
- ⑤ 瓶ヶ森を源とする。四国山地に沿って東に流れ、支川を合わせつつ流路を北向きに変えて四国山地を横断する。さらに支川を合わせて再び東に向かい、平野部を経て、(d) 水道に注ぐ。
- ⑥ 日本最大の湖である琵琶湖を源とする。上流部は瀬田川、中流部は(e) 川と呼ばれ、滋賀県や京都府を流れる。その後、桂川や木津川と合流し、近畿圏の中心部を貫流して平野部に至り、大阪湾に注ぐ。

問1 文章①～⑥が説明するそれぞれの河川名を答えよ。

問2 下の表1は上記の文章①～⑥で説明したそれぞれの河川の概要を示している。表中のA～Dが文章①～⑥のどの河川に該当するのか、番号で答えよ。

表1 日本の主な河川の概要

河川名	幹川流路延長 (km)	流域面積 (km ²)	流域内人口 (万人)	流域関係都道府県数 (うち、幹川流域都道府県数)
A	268	14,330	313	1(1)
B	229	7,040	96	2(1)
④	213	5,090	72	3(3)
⑤	194	3,750	61	4(2)
C	143	2,863	109	4(4)
D	75	8,240	1,100	6(3)

資料：『河川データブック2018』、国土交通省 HP より作成

注1：「河川名」における④・⑤は、それぞれ文章④・⑤で説明した河川であることを示している。

注2：「幹川」とは流域の中心的な河川(本流)を指す。また、「流域関係都道府県数」とは幹川およびその支川(支流)や派川(分流)が流れる都道府県の数指着している。

問3 文章①～⑥中の空欄 (a) ～ (e) に当てはまる地名を答えよ。
 なお、(a) ・ (d) には海域の名称、(b) には山の名称、
 (c) には湖の名称、(e) には河川の名称が入る。

地理

問4 ①～⑥の河川の流域には平野部が広がっている。下の図1はそれぞれの平野部に位置する都市(大阪市, 佐賀市, 酒田市, 札幌市, 徳島市, 浜松市)の月別の降水量と平均気温を表している。図中のE～Hに該当する都市名を答えよ。

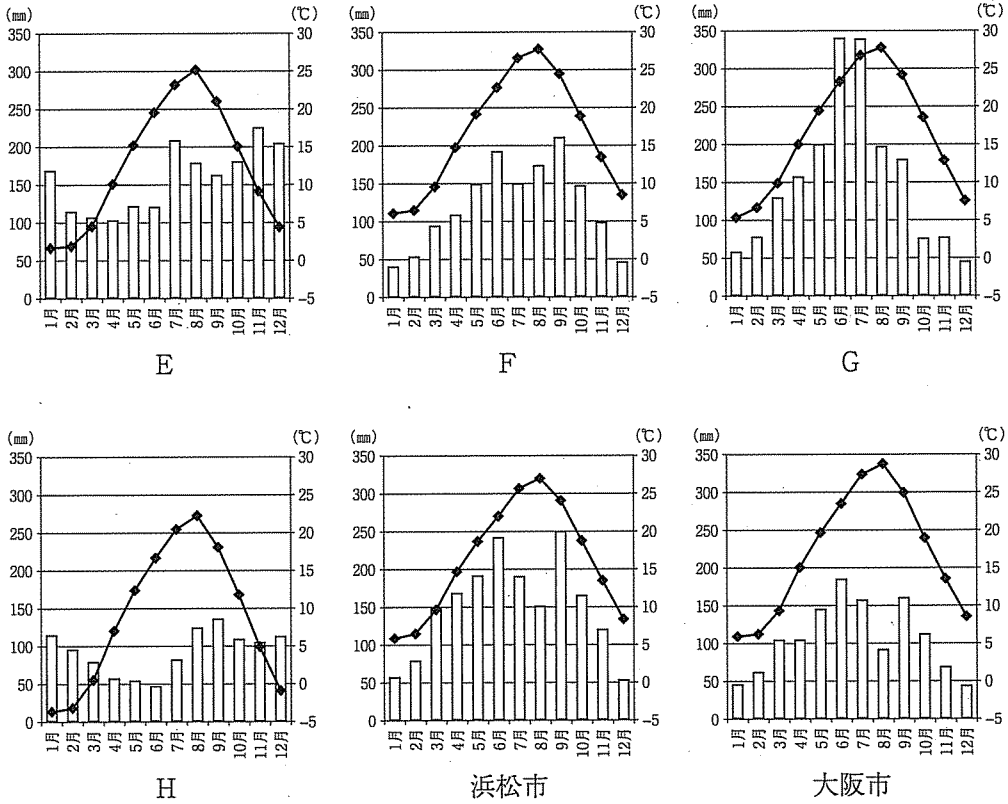


図1 各都市における月別の降水量と平均気温

資料：『データブック オブ・ザ・ワールド 2019年版』より作成

問5 ②の河川が流れる札幌市は仙台市や広島市、福岡市とともにそれぞれの地域の中心都市(広域中心都市)としての性格を有している。それら4都市に関する以下の文章1～6のうち、誤っている文章を2つ選び、番号で答えよ。

1. それぞれの都市は政令指定都市に指定されており、現在100万人以上の人口を有する各地方で最大の都市である。
2. これら4都市の中では札幌市が最大の人口を有しているが、近年(2000年～2010年)の人口増加率は福岡市が最も高い値となっている。
3. 1920年～2010年の10年ごとの人口推移(国勢調査のデータ)をみると、各都市の人口は一貫して増加している。
4. 各都市には都市型産業が集積しており、第2次産業および第3次産業の就業者人口比率はそれぞれ全国平均を上回っている。
5. それぞれの都市は各地方の中心都市であることから、地元企業の本社・本店だけでなく、国の出先機関や全国的な大企業の支社・支店の集積もみられる。
6. それぞれの都市には文化施設や教育施設も集積しており、人口当たりの4年制大学の学校数(各都市に大学本部が立地)は全国平均を上回っている。

地理

問6 下の図2は、1960年～2005年にかけての日本の海面漁業における漁業種別(沿岸漁業、遠洋漁業、沖合漁業、捕鯨業、養殖業)の漁業産出額の推移を示している。図中のI～Kに該当する漁業の種類を答えよ。

また、1980年代半ば以降、沖合漁業の漁業産出額は大幅に減少していき、捕鯨業では数億円規模にまで減少することとなった。それら産出額の減少の理由に燃料費の高騰や漁獲物の単価の低下、漁業生産者の高齢化の問題が指摘できるが、これらの理由以外に、沖合漁業および捕鯨業それぞれの漁業産出額が減少した理由を答えよ。なお、解答欄内であれば字数は問わない。

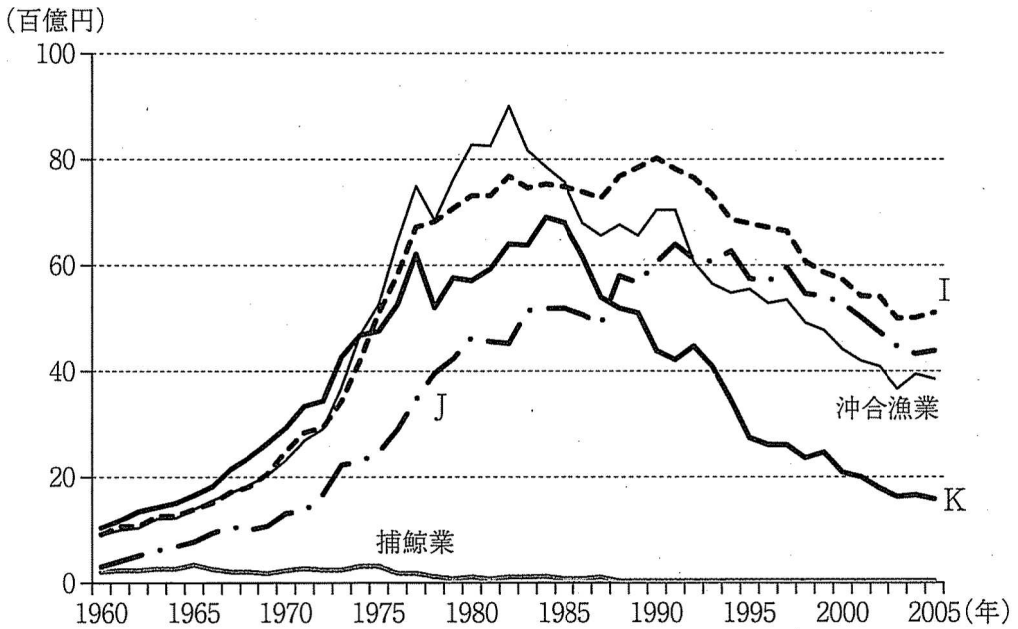


図2 日本の海面漁業における漁業種別別の漁業産出額の推移(1960年～2005年)

資料：「漁業産出額」統計より作成

問7 下の図3は、日本における主な工業地帯・工業地域の製造品出荷額等(2015年)に関する工業の種類(化学工業, 機械工業, 金属工業, 食料品工業, 繊維工業, その他)ごとの構成比を示している。図中のL~Nに該当する工業を答えよ。

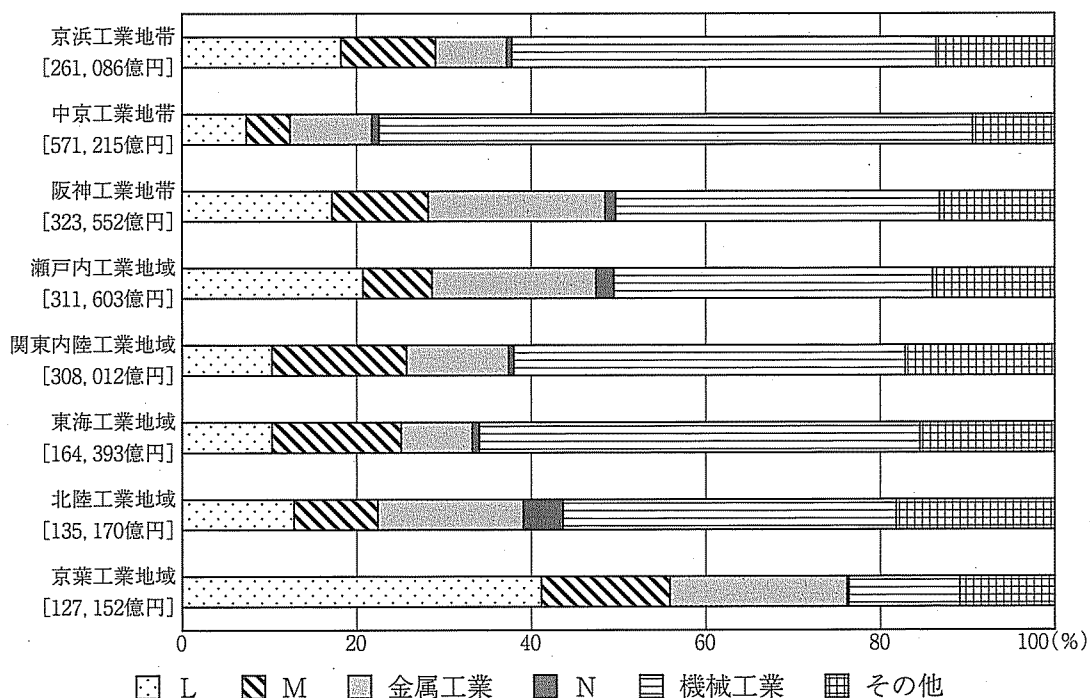


図3 おもな工業地帯・工業地域の製造品出荷額等の構成(2015年)

資料：『日本国勢図会 2018/19』より作成

マークシート解答方法についての注意(共通事項)

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例

A	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

(2) 悪いマークの例

A	①	②	③	④	⑤
B	①	②	③	④	⑤
C	①	②	③	④	⑤

枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

「数学②」(情報科学部・デザイン工学部・理工学部・生命科学部)

マークシート解答上の注意

「数学②(情報科学部・デザイン工学部・理工学部・生命科学部)」は「数学①(それ以外の学部)」と異なる科目です。

問題中の ア, イ, ウ … のそれぞれには、特に指示がないかぎり、- (マイナスの符号), または0~9までの数が1つずつ入る。当てはまるものを選び、マークシートの解答用紙の対応する欄にマークして解答しなさい。

ただし、分数の形で解答が求められているときには、符号は分子に付け、分母・分子をできる限り約分して解答しなさい。

また、根号を含む形で解答が求められているときには、根号の中に現れる自然数が最小となる形で解答しなさい。

〔例〕 $\frac{\boxed{\text{ア}} \sqrt{\boxed{\text{イ}}}}{\boxed{\text{ウエ}}}$ に $\frac{-\sqrt{3}}{14}$ と答えたいときには、以下のようにマークしなさい。

ア	●	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
イ	⊖	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
ウ	⊖	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
エ	⊖	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

※ 「数学①」の選択肢には- (マイナスの符号) はありません。